

野菜の作業 秋～冬期にかけての品目確保と来年の生産にむけての準備をしましょう！（今月の生産者情報はお休みしました。）

種まき	定植（植付け）	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ ・ホウレンソウ ・シュンギク ・コマツナ ・地ダイコン ・ラディッシュ ・野沢菜 ・ネギ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ ・タアサイ ・チンゲンサイ ・ニンニク ・イチゴ など 	<p>【ニンニクの定植】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の準備 完熟堆肥200kg/a、ようりん10kg/a 苦土石灰20kg/a BB-N552 6kg/aを施用して耕起しておく。 ・品種 福地ホワイト、ホワイト六片 ・定植 植付けが遅くなると根が十分に張らないので9月下旬頃までに定植する。うね幅60cm×2条植え 株間15cm できるだけ大きな種球を使用する。黒マルチを張り種球を傷つけないように1片ずつ分け植える。覆土は3cm～5cm程度（乾燥しやすいところではやや深植えとする）向きを揃えて植えると葉の方向が同じになる。 草丈15cm位になったらわき芽を摘み取る。同じく春先のとうも摘み取る。 ・4月上～中旬以降は養分吸収が急激に増加するので、3月中旬から4月にかけてNK化成を2回程度追肥する（1回当たり3kg/a）と玉割れが少なくなる。良品生産のため追肥は必ず行なう。
	<p>収穫</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・ブロッコリー ・ピーマン ・キュウリ ・トマト ・カボチャ ・リーフレタス ・サツマイモなど 	

●カリフラワーの縛葉

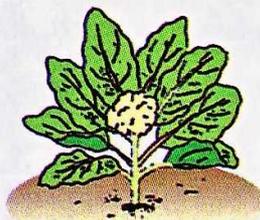
白いきれいな花らいを収穫するために、カリフラワーは縛葉をします。

花らいが直径5cm位になったら、外らいを縛ります。

あまり強く縛ると花らいの発達がおくれます。

収穫は、縛葉の隙間から手を入れて花らいの大きさを確認し、傷つけないように行ないます。

花蕾ができて、直径5～6cmくらいになったら外葉を数枚まとめて花蕾を包み、ひもで結束する。これにより花蕾は純白になる



●パイプハウスの利用



パイプハウスを利用することによっ

栽培が可能になります。

保温効果は資材によっても異なりますが、外気温が0℃付近であってもビニール1枚で2℃程度、カーテンの内側で4℃、小トンネル内では6℃程度の温度が確保できます。さらに小トンネルを2重にしたり、コモがけすることによって9℃程度の温度が確保できます。

パイプハウスの建設費は、30坪のハウスで灌水設備も入れて30万円程度です。（資材費のみ）

上田市では、直売所等へ出荷したり、学校給食へ農産物を提供するためにパイプハウスを建設した場合、10分の2以内で補助する事業があります。

（地産地消園芸施設総合推進対策事業：詳しくは自治センターまで）



灌水資材には、大きく分けてチューブとノズルタイプがあり、ノズルタイプには塩ビ管を使用するものと、ホースを使用するものがあります。

種類	利点	欠点
ノズルタイプ	目詰まりしにくい、使用年数が長い	設置費がやや高い、設置片付けに手間取る
灌水チューブ	設置、片付けが簡単	目詰まりしやすい、使用年数が短い。

●塩ビ管に装着するノズルは、エルメコノズルが多く使われており、ノズルから全円式で灌水します。ホースタイプは、スミホース+専用ノズルがあり、ノズルの形状によって散水形状が違ってきます。ノズルタイプは、上部まで水がかからないほうがよい花き栽培施設で多く使用されています。

●灌水チューブは、噴霧散水、水平散水、点滴散水タイプがあります。果菜類には、水平散水、点滴散水が出来るタイプが使われていますが、軟弱野菜類には噴霧散水タイプが多く使用されています。主な製品はエバフロー（MNVプラスチック）、スミサンスイ・ミストエースS54/72（住化）等がありますが、このうちミストエースS54/72（片穴タイプ）はハウスのサイドにパッカー式の吊り具に装着して使用し、省力的に均一な散水（ミスト状）を行うことができます。耐久性も高い素材で作られていますので検討してみてくださいはいかがでしょうか。 **※冬期間の灌水機器の使用は凍結に充分にご注意を！！！！**



水稻収穫適期予測



普及センターでは出穂期以降の平均気温を足し上げる「積算気温」により収穫開始日の予測を行っています。

品種名	登熟に要する積算気温	標高	出穂期	収穫開始予想日	備考
あきたこまち	1,000℃	700m	8月 3日	9月12日～	8月28日までは実測値、以降は平年並みの気温経過として予測しています。
コシヒカリ	1,020℃	500m	8月14日	9月23日～	

●落水から収穫開始適期までの間には場が乾き過ぎる場合は、胴割れ米発生防止のため走水をしてください。

●刈り遅れは「胴割れ米」の発生を助長します。計画的な収穫ができるようコンバインや乾燥施設の整備は早めに行い、ゆとりある収穫・乾燥調製の計画を立て、品質向上を第一とした作業を行いましょ。

【帯緑色籾歩合による収穫期の判定】
 ・「帯緑色籾歩合」とは緑色の籾が1穂内に占める割合のことです。
 ・1穂内の緑の籾が「10%」になったら収穫開始の目安です！
 上記の「積算気温による収穫予測」と「帯緑色籾歩合」を参考に適期収穫を行いましょ！

9月15日～10月14日は農作業安全月間です！

日が短くなってきますが、焦らず、あわてず気持ちに余裕をもって作業を行いましょ！

夏野菜の保存食 干しナス

<作り方>

収穫したナスを縦に薄切りする。塩水に1時間位つけてあく抜きをする。ナスの水気をきり、ザルに上げて干す。短時間で干しあげると色よく仕上がる。袋に密閉して保存し秋の天気の良い日に再び干す。

<使い方>しばらくぬるま湯に浸し、良く水洗いして水気をしぼり煮付ける。